

■ On-Air 3000 ユーザーレポート

株式会社熊本放送様

On-Air 3000



ラジオ第1スタジオにOn-Air 3000を導入



株式会社熊本放送
ラジオ編成制作部
園田 輝幸

ラジオ第1スタジオ

(株)熊本放送では、2007年5月にラジオの生放送スタジオである第1スタジオを更新しました。弊社では社屋の建て替えからまだ7年しか経過していませんが、この第1スタジオの音声卓に関しては、旧社屋第2スタジオから移設したもので、結局18年間使用したものでした。

また、このスタジオはメインの生放送スタジオ(月～金9:00～16:30の3番組、及び土曜7:40～11:30の番組に使用)であると同時に、公開録音、バンド収録等もできるように設計された汎用スタジオでもあります。そのため、他のスタ



ジオに比べて稼働率がとりわけ高いだけでなく、スタジオ自体も広く、また様々な用途に備えてフェーダー数も多い必要がありました。

ユーザーに優しい事

更新に際しては、信頼性はもちろんの事ですが、技術以外の者によるスタジオの運用が多い為、誰でも簡単に使用できる＝ユーザーに優しい事を第1のコンセプトに考えました。

これを踏まえて、技術及び制作で数社のデモを行い、比較検討をした結果、仕様、コンセプトに合致し、ディレクターからも使い易いと好評であり、かつデザイン性も高いSTUDERのOn-Air 3000に決まりました。

RKKでは初めてのSTUDER社製の音声卓の導入となりましたが、既に多数の局での導入実績があり、また運用している局の方のお話を聞き、導入を決めました。もちろん、前出の社内評価が高かったことが導入決定の最大の理由であった事は言うまでもありません。

卓の特徴である、タッチスクリーンによる各チャンネルの設定状態の操作は、ビジュアル的であるため、わかりやすく、簡単に素早くできると、とても好評です。また、スナップショットで様々なパターンのセッティングを瞬時にシーンチェンジできるため、こちらも簡単で大変便利です。

落ち着いた色調のテーブル

なお今回は、スタジオ側のアナテーブルも新しくしました。サブのコンソールテーブルの天板と同じ色のダークグレーを基調にコーディネートしたのですが、とても落ち着いた色調に仕上がったと思います。喋り手の方々にも「原稿が見やすい、落ち着いた雰囲気がいい」等と大変好評です。

最後に、スタジオ更新工事にご協力いただいた日東紡音響エンジニアリング様、色々と細かい所までお気遣い戴き、多くの要望を実現して戴いたSTUDER JAPAN様、及びスタジオイクイPMENT様にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

